

桐生西ロータリークラブ週報

Rotary



2019-20年度RIテーマ

マーク・ダニエル・マローニーRI会長

ROTARY CONNECTS THE WORLD ロータリーは世界をつなぐ



例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30
 例会場・事務所 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス
 Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp TEL 0277-22-9155
 URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi FAX 0277-44-2777
 会長 新木明夫 幹事 山形 剛 クラブ会報・雑誌担当 松戸義澄
 公共イメージ委員長:阿左美博 委員:金子福松、江原利夫(歴史編集:江原利夫) 唐澤雅弘

No. 2176

2019年9月13日発行

第2305例会 (2019・9・6) 報告

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 1. 点 鐘 | 6. 幹事報告 |
| 2. 国歌斉唱 | 7. 食 事 |
| 3. 四つのテストソング | 8. 委員会報告 |
| 4. 来訪者紹介 | 9. 卓 話 『ロータリー友月間に因んで』 |
| 5. 会長の時間 | 10. 点 鐘 例会終了後定例理事会開催 |

◆ビジター

桐生赤城RC 直前幹事 田村浩道君

◆会長の時間

新木会長

- 先週のわたらせ養護園での地区補助金贈呈式では、お手伝い頂きましたクラブ運営委員会さん、並びにご出席下さいました会員皆様にお礼を申し上げます。この事業の大きな課題であるロータリアンが汗を流す活動として、贈呈先を訪問して施設の様子を肌で感じ、園児達と交流できた事は有意義であったと思います。
- 明日(土)午後3時から伊勢崎プリオパレスで新会員セミナーが開催され、当クラブから唐澤雅弘君と堀江絹子君の2名が出席します。堀江会員にはセミナー後の懇親会も参加して頂く事になっております。

◆幹事報告

山形幹事

- ◇本日例会終了後1Fで理事会を行います。
- ◇地区大会の出欠席のご連絡をお早めをお願いします。
- ◇本日家住パスト会長が丹精込めて栽培した葡萄を全会員が持ち帰れる様に頂戴しました。ご賞味下さい。
- ◇クラブ現況報告書を配布致しました。訂正事項があるかご確認をお願い致します。
- ◇ロータリーの友9月号を配布致しました。
- ◇ガバナー月信9月号が配信されました。(各テーブルに配布)
- ◇ハイライトよねやまvol.233が配信されました。(")
- ◇9月のロータリーレートは1ドル106円に変更になりました。
- ◇地区補助金贈呈式の記事が4日(水)の上毛新聞と5日(木)の桐生タイムス紙に掲載されました。(各テーブルに配布)
- ◇大間々高校模擬面接の記事が8月24日(土)の上毛新聞と8月26日(月)の桐生タイムス紙に掲載されました。(")
- ◇下記のものが届いております。
 - ・ニューモラルNo.601が10部
 - ・山田GE事務所開設のお知らせと主要行事予定表
 - ・ロータリーの友事務所より公共イメージ向上のための広報誌が見本として1部
 - ・桐生南RCより桐生南・桐生中央RC合併前クラブ現況報告書
 - ・桐生赤城RCよりクラブ現況報告書
 - ・桐生市発案考案展の開催要項とポスター
- ◇例会変更のお知らせ
 - 桐生赤城RC 9/17(休) 桐生南RC 9/11、9/25
 - 桐生RC 9/9、9/16(休)、9/23(休) 他7RCより
- ◇クラブ会報が到着しています

桐生RC 8/5、8/19、8/26 桐生赤城RC 8/6、8/20

◆食事メニュー

1009キロカロリー

ポテトサラダ、メカジキのおろしソース、香の物、豚肉のピリ辛豆腐、鶏団子のスープ、白飯

◆委員会報告

□クラブ運営委員会

◇出席報告

東郷(学)出席担当

会員総数56名 (出席免除者10名内6名出席の為)
 出席率対象者52名、出席率対象者出席人数41名
 欠席者11名(内前メイク6名) 出席率90.38%
 前々例会修正出席率92.59% (最終欠席者4名)

□拠金委員会

◇ニコニコBOX

中里ニコニコBOX担当

卓話をさせていただきます 金子君
 金子パスト会長卓話宜しくお願いします
 新木君、坪井君、越塚君、中島君、前原君、井本君、佐々木君、霜村君、奥村君、乾君、小林(憲)君、阿左美君、向田君
 家族会お疲れ様でした。タイヒチアンダンスブラボーでした。来期は胡瓜串は倍増で対応します 斎藤君
 中之条ビエンナーレ会期は9月23日迄です。暇の方は是非行ってみて下さい 家住君
 すっきりとした天気気持ちいいですね 唐澤君
 最近秋の匂いがします 新島君
 夏らしい時期今年は短かったですね！冬はどうだろう？ 野田君

明日は施設のお祭りです 近藤君
 隣の国放っておくしかないと思います 野村君
 今日は亡くなった母の誕生日ケーキ買います 堀江君
 今日は次男の18歳の誕生日です 山形君
 リサイクル募金ご協力ありがとうございます 松戸君

◇ロータリー財団

加藤ロータリー財団担当

9月はロータリーの友月間です 金子君
 金子パスト会長卓話宜しくお願いします
 新木君、坪井君、越塚君、中島君、前原君、井本君、霜村君、奥村君、中野君、堀江君、霜村君、阿左美君、向田君、近藤君
 今月も宜しくお願いします 山形君
 わたらせ養護園椅子寄贈に際しご用命ありがとうございます 唐澤君

クラブ運営の皆様プリオスタッフまでお気遣い頂きありがとうございます
 大川美術館記念展が楽しめます
 人間挫折を味わえば強くなれますか？強くなりたい今日この頃！
 少しずつ秋の気配を感じる今日この頃
 また暑くなりました
 永平寺の灯籠流し良かったです
 浦野さんありがとうございます
 畑の水くれに励んでます

齋藤君
 家住君
 新島君
 野田君
 乾君
 野村君
 小林(恵)君
 船戸君

◇**米山BOX** 早川米山奨学担当

ロータリーの友月間に因んで 金子君、阿左美君
 金子パスト会長卓話楽しみにしています
 新木君、坪井君、越塚君、中島君、前原君、向田君、
 井本君、霜村君、中野君、山形君、野田君、
 納涼祭楽しかったです。ご準備頂いた皆様お世話になりました
 2840地区財団セミナーと女性の集い等伊勢崎プリオパレスご利用頂きありがとうございます
 私が作った葡萄です。食べてみて下さい
 わたらせ養護園椅子寄贈に際しご用命ありがとうございます
 最近読書する時リーディンググラスが必要です
 蒸し暑い日になりました
 まだまだ暑いです。体調管理気を付けて
 雨の日に楽しそうに植木の水くれをしていた95歳の近所のおじさんが亡くなりました
 毎日とても気持ちよく体を動かしてます
 男でも女でも愛想のいい人は社会の宝物である。笑顔千両いや万両。苦しい時つらい時は無理にでも口角を上げて福を呼び込もう

斎藤君
 家住君
 唐澤君
 新島君
 近藤君
 堀江君
 野村君
 船戸君
 奥村君

◇**公共イメージ委員会**

◇**雑誌** 船戸クラブ会報・雑誌担当

ロータリーの友9月号の紹介をします。
 左開き横組3頁のRI会長メッセージは、ホノルル国際大会を家族で楽しめる会になるよう従来と内容を変えて開催したいと語っています。
 また、今月は基本的教育と識字率向上月間です。8~9頁に前橋RC山田邦子氏(2840地区GE)が「モンゴルの聴覚障害児に教科書を届けたくて」と題して、苦勞の末にプロジェクトを成功させた事が紹介されています。30~31頁には元青少年交換学生が率いるライターチームが、ロヒンギャ・ムスリムに対する軍の弾圧を報道した事が評価されて、ピューリッツァー賞を受賞したことが掲載されています。以上です。

紙面上理事会報告 8月20日

1. 地区大会を例会変更にする件と登録について承認。

理事会報告 9月6日

1. 納涼家族会の決算承認。
2. 納涼家族会の募金は今後の奉仕活動資金とし一時預かりとする。
3. 例会変更の件と例会内容承認。
4. 家族会員に職場訪問参加を呼び掛ける。会費は大型バス代として会員・家族会員とも2千円とする。家族会員のその他費用は家族会予算から拠出する。
5. 栃尾RCとの交流は国際奉仕友情交換を交えて検討する。
6. 2019年規定審議会の決定事項を受け、クラブの対応をクラブ研修リーダー・会長幹事で案を作成する。
7. 米山梅吉記念館創立50周年記念事業へのクラブ寄付は4RC会長幹事会の決定に従う。各クラブの判断となった場合は本部費から1万円を寄付する。
8. 米山梅吉記念館100円募金は例年通り行う。
9. 桐生西RAの地区大会登録は参加する会員を登録する。
10. 桐生西RC揃いのポロシャツは任意で注文販売する。

★ 話



「ロータリーの友月間に因んで」

チャーターメンバー
 公共イメージ委員
 パスト会長

金子福松君

以前、地区の新会員研修にオブザーバーで出席した時に、講師が「ロータリアンの基本的な3大義務は何ですか」と、問われたことがあります。はて何だったかなと、一瞬考えてしまいます。

答えは、①例会に出席すること、②会費を支払うこと、③「ロータリーの友」を購読すること、です。

この3番目を真面目に実行することは、簡単なようで、仲々難しい。購入はクラブの方で会費から一括購入して、毎月第1例会に全会員に配布し、雑誌担当の会員が大事なところを紹介・解説して、会員に興味を持ってもらうよう努力している訳ですが、果たしてどの程度読まれているのか解りません。

9月は、ロータリーの友月間です。そこで今回は、「ロータリーの友」編集部で作製した「「ロータリーの友」紹介」というパワーポイントを会員の方々に見て戴きたいと思います。そして、「ロータリーの友」が果たす役割や、ロータリアンにとって必要な情報が盛り沢山掲載してあることなどを理解して戴き、愛読して戴くことによって、今後のロータリー活動に役立ててもらえれば幸いです。

＜「ロータリーの友」紹介(パワーポイントの要約)＞

1. 9月はロータリーの友月間です。10月の米山月間と同様、日本独自の月間です。
2. ロータリーの友創刊号は1953年1月号でした。その時の発行部数は3,300部でした。現在の様に、横組み(横書き)、縦組み(縦書き)と分かれるようになったのは、1972年1月号からです。
 ・横組み — 国際ロータリー関連、ロータリー全体で力を入れている活動、特集など。
 ・縦組み — ロータリーの友創刊の目的(お互いのことを知る)を果たす内容のもの。

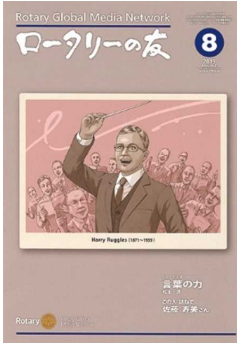


現在の発行部数は、約95,000部です。因みに、今年の8月号で通巻800号になりました。

3. 国際ロータリーの機関誌は「The Rotarian」、創刊号は1905年発行です。ロータリーの友は公的な「ロータリー地域雑誌」です。世界には、ロータリーの友のような地域雑誌が32あります。(「友」誌2019年9月号P16~17に掲載)
4. 日本のロータリアンは、「ロータリーの友」又は、「The Rotarian」を購読する義務があります。
5. ロータリーの地域雑誌にも守るべき規則が、いくつかあります。
 ・一つは、7月号の表紙に新年度の国際ロータリー(RI)会長の写真を掲載すること。
 ・その他にも、雑誌の内容の50%はロータリー又はロータリー関連の記事であること。年に6回は発行され、24ページ以上であること
 (ロータリーの友は年12回発行しています。)



- ・そして、「The Rotarian」の記事の中から、指定された記事を転載する義務もあります。 **RI 指定記事**
- 『友』誌では、「RI 指定記事」と呼んでいますが、記事のタイトル周りにロゴを入れています。目次には「RI」だけのロゴを入れています。
- 6. 毎号掲載されるものとしては、RI 会長メッセージ、財団管理委員長のメッセージ、次に行われる国際大会の案内があります。
(これは、ロータリアンとして全世界共通の認識です。)
- 7. これらの他に、7月号では、RI 会長の紹介記事、9月号か10月号には国際大会のプロモーション記事、3月号にはRI 会長エレクトの記事などが、RI から指定されています。
- 8. 「ロータリーの友」では、RI 指定記事以外にも、「The Rotarian」の記事の中から、日本のロータリアンの関心を引くような記事を掲載しています。
- 9. この他に、横組みでは、特別月間に関連した記事や、ロータリーが大切にしている活動の特集として、掲載しています。
- 10. 横組みが、国際ロータリーの方向性を意識した記事が中心である一方、縦組みは、投稿記事を中心に掲載しています。「ロータリーの友」が創刊された時の目的でもある、日本のロータリアンの中で情報を共有したいという気持ちを表しているのが縦組みです。「友愛の広場」、「私の一冊」、「アットワーク」など、様々な投稿コーナーがあります。
- 11. 「ロータリーの友」今年度の表紙について
 - ・横組みの方は、佐久間真人(さくま まこと)さんが、過去のような未来のような、日本のようなそうではないような、ノスタルジックな世界を、2匹の白猫が11ヶ月の旅をする表紙になります。
 - ・縦組みの表紙は、後藤文彦(ごとう ふみひこ)さんに、ロータリーの歴史に名前を刻んだ人の似顔絵を描いてもらいます。
- 第1回目8月号は「ハリー・ラグルス」、ロータリーに「歌唱」を導入した人、ロータリアンをつなぐ「ロータリーソング」の提唱者です。
- 12. 今年度の「ロータリーの友」縦組みに新企画が三つあります。
 - 1) 2019年7月号から「この人を訪ねて」が始まりました。毎月一人のロータリアンにフォーカスを当て、その人の職業に対する向き合い方、ロータリーの職業奉仕を实践している様子を紹介します。
 - 2) 「侃侃諤諤(かんかんがくがく)」を始めます。あるテーマについて、ロータリアンに意見を述べってもらうというコーナーです。1回目のテーマは「例会の服装について」、10月号に掲載。
 - 3) 「友愛の広場」の中の「私の宝物」欄では、思い出の品、コレクション、ペットなど紹介しています。
- 13. 投稿に関するお願いです。写真が大きなポイントです。活動の様子がよく分かる写真をお願いします。投稿規定をよくご確認の上、ご投稿下さい。
- 14. 「ロータリーの友」は、ロータリアンを結ぶ懸け橋です。ご活用下さい。以上



公共イメージのための広報誌の紹介



ロータリーの友事務所から、『Rotary 友と歩む 地域と歩む』というタイトルの冊子が刊行されました。

これは、ロータリアンではない人にロータリーのこと、ロータリーの活動について知ってもらうために毎年制作されています。今年度バージョンが8月に完成し、当クラブにも見本で1部送られてきました。

クラブや地区で開催する公開講座、スポーツ大会、地域でのイベントなどの際に、一般の人に配布し、ロータリーのことを知ってもらうツールとしてご利用いただけます。A5判16ページの小冊子で、1セット(10冊)で本体価格500円+消費税(送料別)です。

(有) 花 ぶ さ

代表取締役 花房孝道
桐生市相生町5-365-12
TEL 0277-52-6699

はとり歯科医院

院長 羽鳥 隆
桐生市相生町5-459-13
TEL 0277-54-5588

早川石材店

代表 早川勇一
桐生市宮前町2-16-10
TEL 0277-22-3770

明治安田生命保険(相) 群馬支社

桐生南営業所 所長 堀江絹子
桐生市巴町2-1832
TEL 0277-44-3002

(株) ホ シ ケ ン

代表取締役 星野幸男
太田市清原町5-10 太田流通団地
TEL 0276-37-8300

昭和一桁の世代

チャーターメンバー・パスト会長 星野 幸男

平成から令和となって早4ヶ月、ロータリーも新しい年度と変わりました。
平成生まれともはやされていた人達も、少し遠くへ押しやられてしまったような気がします。
昭和生まれは尚更です。

昭和には戦争があり、平成には多くの災害が起こりました。昭和がよく激動の世といわれますが、平成もまた激動の時代でありました。

令和は「美しい調和」を意味しています。令和の時代が恙なく年を重ねていくように願うばかりです。

気がついたら、私もまもなく米寿という年を迎えます。月日の経つ早さに改めて驚いています。悩み迷いながら歩んできた長い年月を振り返ると、ロータリーでのよき先輩、知人、友人との出会いや別れ、また親睦を中心とした奉仕活動の楽しさなどが、色々と思い出されます。

それは、多くの会員諸兄に導きをいただき、温かい好意と友情に支えられて歩んできた幸せな日々でありました。感謝の人生です。

近時、新会員の皆様が多人数入会されましたので、「昭和一桁生まれの思い」を投稿させて戴きます。どうかご判読いただければ幸いです。

桐生西RCの平均年齢は本年7月現在で60.5歳です。60.5歳という年齢は、昭和34年生まれということになります。当クラブは昭和二桁・中堅の世代と言えます。確かに会員56名中、全員が昭和生まれであります。因みに昭和一桁生まれは2名、昭和二桁生まれは54名です。昭和一桁生まれのかけがえのない会員はたった2名になってしまいました。避けられない事実ですが、誠に残念なことであります。

ここで何故、昭和一桁という世代を持ち出したかといいますと、この時代は「薄命の世代」と言われ、大変問題になった特徴のある世代だったからです。

まず、この世代は短命であるということは以前から注目されていたことなのですが、当時、厚生省がまとめた年齢別死亡率を見ますと、昭和一桁は確かに他の世代より死亡率が高いという事実がありました。死亡に繋がった病気は、肝硬変、くも膜下出血、糖尿病、脳出血、胃潰瘍などです。これらの病気は出血死することで共通しております。

何故、昭和一桁はそうなのか？ このことは、この世代は終戦の時15歳を中心にした発育盛りであったにもかかわらず、食糧難の為、血管の発達が十分でなかった為ではないかと推論されてきました。

また、この時代は自殺者が多いので注目されておりました。このことについては、心の成長期である10代に、それまでの価値観が全否定されて、一度目標を失ってしまった、その傷跡が深因であるとされ、加えてこの世代は、真面目で遊び方が下手であり、その結果、心身ともに孤独になり、死に至るといわれていました。

戦後10年位は、青年期の自殺者が多くありました。老人の自殺者が多い「ハンガリー型」に対して、「日本型」として発表されておりました。

戦争が若者の心の傷に残ることは、ベトナム戦争後、アメリカで若者の自殺が増えたことから伺えました。

以上の2つの事実が示しているように、昭和一桁の世代は薄命であるということは、避けられない宿命のようでありました。しかし、不思議なことに、この薄命の世代は、男性に限られているようです。女性は環境に左右されない強い本能を持っているのか、または隠れて食べていたのかもしれませんが。

何はともあれ、私達昭和一桁の世代は運が悪かったのだと諦めるしかなかったのです。小学校に入り国民学校を卒業、旧制中学に入り新制高校を卒業。始まったばかりの新制大学に入ったら旧制大学のままの形であり、卒業の頃になって新制大学風に変わってきました。激しい大学紛争もあり、次第に近代化されていきました。

この様に、私達の世代（特に昭和5、6年生）は、ことごとく過渡期そのものであり、一貫した教育は受けてきておりません。

しかし、考えようによっては、旧新両方の教育を受けることができたわけです。このような世代は今迄もなかったし、これからはないでしょう。求めてもない、珍しくもあり、貴重な世代でもあったのです。別の見方をすると、私達は大変な財産を身に付けていた訳です。一貫した教育を受けられず、食うものも食えず、戦争中はもっぱら軍事教練に明け暮れて、戦後は新聞紙のような教科書で、がらりと変わった教育を受けてきたのが、私達の学校時代でありました。

そして、時代はどんどん変わり、世代の交代が始まりました。戦前の古い人達と戦後の新しい人達との交替です。新人類という言葉がでてきたくらい理解に苦しむような世代もありました。両者はお互いに理解しあうということは、恐らく無理だったのでしょう。環境、教育、主義、理想も全く違う社会で成長してきた人達なので。私達は両者のそれぞれを経験し、教育されてきました。

国歌を国技館の歌とし、軍艦マーチをパチンコの歌と想っていた世代があった事実。しかし、これも考えようによっては、幸せな世の中だったのかもしれない。

私達昭和一桁の世代は、私達より前の世代（明治・大正）と、後の世代（昭和二桁）というこの大きく変わった両世代をよく理解することができました。両者を理解しなければならぬし、それが私達の世代に課せられた宿命的義務でもあったのです。

このような世代交代の波は、当然ロータリークラブにも起きてくることは予想されておりました。

平均年齢的にも中堅にあった私達宿命の世代は、当然次世代への橋渡しを引き受けなければならないし、それが義務であったのかもしれませんが。期待通り責任を果たすことができたかどうかは会員皆様のご判断にお任せいたします。橋渡しという仕事を課せられた世代、それは薄命と言われても仕方がなかったのです。佳人薄命とも言いますから。

親愛なる昭和一桁の皆さん、と言っても金子福松君と私の二人だけですが、これからも健康に気を付けて、まだまだ長生きをしましょう。

実はこれが本音であります。

《次例会予告》

9月20日(金) ロータリー研修

クラブ研修リーダー 下井田秀一パスト会長

9月の出席100%表彰、誕生・結婚祝い

9月は“基本的教育と識字率向上月間”

及び“ロータリーの友月間”です